

一、各黨の態度

A、社會民衆黨

社會民衆黨はその有力なる支持團體の一つである日本労働同盟加盟組合の爭議であるから、爭議發生當初より極力、積極的に應援した。昭和二年十二月四日・五日開催の黨第一回全國大會に於て緊急動議として野田爭議に關し一代議員が提案したる左記事項を満場一致を以て可決した。

「野田町爭議中黨員は野田醬油株式會社網甲萬をボイコットする件、並に社會民衆黨は此の爭議を徹底的に應援し且つ大會後は直ちに野田町に於て野田醬油會社糾強演說會を開催する件」

昭和三年四月十九日開催の「社會民衆黨議會對策臨時大會」に於て左の件につき議決した。

一、野田爭議に關し質問するの件

以上は大會に表はれたる所のみであるが、黨出身の安部磯雄氏、鈴木文治氏、龜井貫一郎氏、西尾末廣氏の四代議士を推し立て、東京、大阪、野田等主要各地に於て爭議批判大演說會を開催した。

B、労働農民黨

野田町爭議中幹部は日本労働同盟主義方針を異にする他無産團體の積極的な應援特に共同闘争をなすことを希望しなかつたので、社會民衆黨ほどの積極的な態度は執り得なかつたが、等しく無産階級の共通の問題として間接的に援助をした。

黨機關紙労働農民新聞に於て野田爭議に關する救援の記事を記載して一般輿論の喚起につとめた。
同黨の態度を聲明せる聲明書左の如し。

野田爭議に對し聲明す

總同盟野田三千の労働者諸君が資本家の飽くなき搾取に戦を宣して以來すでに三ヶ月になつてゐる。この間資本家は數次の解雇により或は買収により爭議團切り崩しに狂奔し、官憲又これに應じて徹底的彈壓を加へ來つてゐる。勇敢なる同爭議團員諸君は資本家と官憲に對し一絲亂れず血みどろの闘争を續け、また暴力團建國會を粉碎し、我國全被抑壓民衆の威大なる闘争力を代表して闘つてゐる。今こそ我ら自身の自衛團を組織すべき時が來たのだ。我が黨は暴虐な支配階級に對して飽くまで抗争すると共に、此處に全黨を擧げて野田爭議團を徹底的に應援することを聲明す。

十二月二十四日

労働農民黨

聲明書

日本労働同盟野田町爭議團の諸君が、絶えざる迫害と切崩しに屈する所なく、よく戦闘的労働者の意氣を發揮しつゝあるのは全國労働者農民の等しく感激措く能はざる所である。爭議團員諸君は殊に最近に至つて強力なる示威運動を數回に亘つて敢行し支配階級の膽を寒からしめつゝあるのみならず。現在千葉縣下に戦はれつゝある縣會議員選舉戦には爭議團員戸張君を社會民衆黨候補者として擁立し労働者農民の眞の利益のために闘争しつゝあるのである。

然るに千葉縣官憲は田中反动政府の命によつて爭議勃發當初より爭議壓迫に全力をあげつゝあつたのは全國労働者農民の周知の事實であるが官憲は検事局と呼應して社會民衆黨候補者の當選を妨害するため選舉運動員である爭議團員多數を檢束し、或は又、爭議團員を暴徒扱ひにして數百の警官を動員する等、諸種の奸策を弄しつゝある。

かくの如きは全國労働者農民の斷じて黙視し得ざる所にして、我労働農民黨は全日本労働者農民の名によつてかゝる壓迫、選舉妨害に抗